

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35203	韓国語会話 I Korean Language Conversation I	木村 淑			1	選択	1.2前期

科目の概要

韓国語の文字（ハングル）及び、基礎文法を学修することによって、自己紹介と簡単な日常会話ができるようにするのを目標にする。韓国語を修得する際に難しく思いがちな発音や単語を日本語と比較しながら勉強することで、両国の言葉の類似点、相違点を気づかせ韓国語の理解力を高める。「読む、書く、聞く、話す」ことをバランス良く入れ、コミュニケーション能力を高め、韓国の生きた文化や生活習慣に触れ、韓国語の理解を深めることを目指す。更に、この授業では、韓国語を習得する中で自己研鑽し、国際社会の中で問題解決する力を育成する。これらはディプロマ・ポリシー②③④に関連している。

学修内容	到達目標
① ハングルの母音を習得する ② ハングルの子音を習得する ③ 母音と子音、終声子音(パッチム)の組み合わせを習得する ④ 韓国語で自己紹介ができるようにする。 ⑤ 韓国語で簡単な文章の作成と基礎的な会話を身につける。	① ハングルの母音を理解することができる。(DP②) ② ハングルの子音を理解することができる。(DP②) ③ ハングルで単語を表記することができる。(DP②) ④ 韓国語で自己紹介することができる。(DP③④) ⑤ 韓国語で文章の作成と簡単な会話を行うことができる。(DP③④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む文法や発音に気を付けながら、自ら積極的に取り組む事が出来る。
	働きかけ力	韓国語でコミュニケーション能力を高めるため、他者に声掛けをして会話練習に取り組むことができる。
	実行力	正確な発音を身につけるため、舌や唇の動きを認識しながら、継続的な練習を繰り返し行うことができる。
考え抜く力	課題発見力	韓国語の学習の上で、自分で課題を見つけ改善を図ることができる。
	計画力	すべての課題とテストや試験の準備を、期間内にやり遂げることができる。
	創造力	日本語との語順の類似性を生かして、自ら韓国語で文章を考えることができる。
チームで働く力	発信力	自己紹介や韓国語で文章をまとめて、他者に発表することができる。
	傾聴力	他者の発表やグループワークの中で他者の意見をしっかりと傾聴して、コミュニケーションを楽しむことができる。
	柔軟性	ハングルの学習を通じて、隣国の異なる文化や思想を持つ人々の気持ちを理解することができる。
	状況把握力	グループワークなどで、発言を促したり、全体の意見をまとめたりすることができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「ひかりとシフのどきどき韓国語」都恩珍監修／李正子・金昭鎭著 朝日出版社 2,640円（税込）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：韓国語会話Ⅱ
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
日本語と語順が類似しているので、各単元の単語をしっかり暗記することで、韓国語が話せるようになります。話せるようになるとさらに韓国語に興味を持って、楽しく学ぶ事が出来ます。	・授業中、携帯電話は電源を切り、カバンに入れておくこと。 ・出された課題は積極的に取り組む。 ・グループワークに積極的に参加すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	40	①	✓	・小テストで出題された単語や文章を中心とする	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	小テスト1、単語と表現の読み書きを復習中心に出題する ・場合によっては聞き取りテスト、音読テストも行う ・出題範囲は前回の授業で学習した内容とする ・返却されたテストで間違えた問題をテスト用紙に正しく書き直して、再提出する ・すべての小テストの点数の平均点を基準に、成績評価に反映する ・欠席届を提出した学生と、先生に申し出た学生は次の授業前、又は授業後に小テストを受けること ・無断で欠席した学生は小テストを受けることができず0点になる可能性がある
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	10	①	✓	課題は返却されたテストの間違った問題を再度間違いのないよう解いて提出する ・学習状況によっては、上記に加え、テキストの各単元の単語と練習問題を解いて提出する場合がある ・間違いがある場合、指示通りにやれてない場合は再提出となる ・間違いを直せず再提出が多い場合は、レポート評価が下がる可能性があるため必ず提出前に自身で見直しをすること
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	①テキストの本文をペアで口頭発表し、以下の点を基準に評価する（5点） ・暗記して発表すること ・正しい発音で発表すること ・個人ではなく、ペアの評価で点数がつく ②自己紹介の口頭発表を行い、以下の項目を基準に点数をつける（5点） ・正しく暗記して発表出来るか ・正しい発音で発表出来るか ・流暢、且つ、聞き取りやすい韓国語で発表出来るか ・大きい声で発表出来るか ③曲の歌を歌う（グループで歌う）以下の項目を基準に点数をつける（10点） ・正しく暗記して歌えるか ・大きい声で正しい発音で歌えるか ・グループリズムに合わせて歌えるか ・個人ではなく、グループの評価で点数がつく
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) ・語学力を身につけるために、自ら予習、復習をすることができる。 (実力) ・授業で学習したことを日常的な場面で意欲的に取り入れる。 (課題発見力) ・様々な場面で使える表現を意識し、意欲的に取り組むことができる。 (創造力) ・課題に対して、学修した文法や単語を応用して、表現することができる。 (発信力) ・聞き手に分かりやすく、自らから考え工夫して発表する。 (傾聴力) ・話し手の話を聞き、しっかり聞くことができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) 期末試験、小テストが90%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動が優れている。 A(優) 期末試験、小テストが89%～80%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動に積極的に参加できる。	B(良) 期末試験、小テストが79～70%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動に意欲的に参加できる。 C(可) 期末試験、小テストが69～60%であり、ハンガルの文字表を見ずに、文字が読める。発表の際に、明瞭な発音で発表することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 文字編 第1課 ・1, 母音五つ (ㅏ, ㅑ, ㅓ, ㅕ, ㅗ, ㅛ) ・2, 子音四つ (ㅇ, ㄹ, ㄱ, ㅋ) を学ぶ。 ・初めて会う人と挨拶が出来るようになることを目的とする。	講義 演習 発音練習 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・ハングルの仕組みを理解することが出来る。 ・授業で学習した母音と子音を読むことができる。 ・初めて会う人と挨拶することができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。 ・挨拶が出来るように繰り返し音読する。 (予習) 第2課の基本母音と子音三つを読んでおく。 ・「私は学生です」を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
2	文字編 第2課 ・1, 基本母音 2, 基本母音と子音三つの組み合わせを学ぶ。 ・「私は大学生です」を韓国語で言えるようになることを目的とする。	講義 演習 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した母音と子音の読むことができる。 ・「私は大学生です」を韓国語で言うことができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。 ・自己紹介の表現の一つである「私は大学生です」のフレーズを繰り返し音読する。 (予習) 3課の本文を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
3	1課、2課の復習 母音と子音の組み合わせの単語を正しく読み、書けるようにすることを目標とする。	講義 演習 2課本文発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対してクラスルームを通じてフィードバックする	母音と子音の読むことができ、自己紹介の一つである「私は大学生です」をいう事が出来る。	(復習)母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする (予習) 第3課の子音の五つを読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	文字編 第3課 ・子音五つを学ぶ。 ・「ありがとう」と「さようなら」の挨拶を言えるようになることを目的とする。	講義 演習 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した子音を読むことができる。 ・「ありがとう」「さようなら」を韓国語で言うことができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。 ・「ありがとう、さようなら」を韓国語で言えるように繰り返し音読する。 (予習) 4課本文を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	文字編 第3課 ・子音五つの復習 ・1課～3課を復習して、正確な読み、書きが出来るようになることを目的とする。	講義 発音練習 3課本文発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・単語を読むことができる。 ・「ありがとう」「さようなら」を韓国語で言うことができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。 ・「ありがとう、さようなら」を韓国語で言えるように繰り返し音読する。 (予習)・第4課の合成母音 I、パッチム I、連音化 I を読んでおく。 ・「どこですか」を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	文字編 第4課 ・1, 合成母音 I 2, パッチム I ・「どこですか」という疑問文が言えるようになることを目的とする。	講義 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した合成母音 I、パッチム I を読むことができる。 ・「どこですか?」を韓国語で言うことができる。	(復習)合成母音、パッチムを復習し、単語の読み書きが出来るようにする。 「どこですか?」の疑問詞を使った質問が出来るよう、繰り返し音読する。 (予習) 4課の連音化の文法を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	文字編 第4課 ・連音化 ・合成母音、パッチム、連音化の復習をして、正しく読み、書きが出来るようになることを目的とする。	講義 発音練習 4課本文発表 小テスト(間違えた所を見直して提出する) 学生の質問に対してクラスルームを通じてフィードバックする	・授業で学習した合成母音 I、パッチム I を読むことができる。 ・「どこですか?」を韓国語で言うことができる。	(復習) 合成母音、パッチムを復習し、単語の読み書きが出来るようにする。 ・「どこですか?」の疑問詞を使った質問が出来るよう、繰り返し音読する。 (予習) 第5課の激音、合成母音 II の単語を読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	文字編 第5課 ・1, 激音 2, 合成母音 II を学ぶ。 ・お店で注文する時の表現が言えるようになることを目的とする。	講義 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・激音、合成母音を読むことができる。 ・日本語をハングルで表記することができる。 ・お店での簡単な注文を韓国語で言うことができる。	(復習)・激音、合成母音の読み書きを練習して、単語が読めるように復習する。 ・お店での注文で使うフレーズを繰り返し音読する。 (予習) 日本語のハングル表記を復習して、自分の名前を韓国語で書けるようにする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文字編 第5課 ・日本語のハングル表記を学ぶ。 ・激音、合成母音を復習して、正しく読み、書きができるようになることを目的とする。	講義 発音練習 5課本文発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 歌発表のためのグループを決める。 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・激音、合成母音を読むことができる。 ・日本語をハングルで表記することができる。 ・お店での簡単な注文を韓国語で言うことができる。	(復習)・激音、合成母音の読み書きを練習して、単語が読めるように復習する。 ・日本語のハングル表記を復習して、自分の名前を韓国語で書けるようにする。(70分) ・お店での注文で使うフレーズを繰り返し音読する。 (予習)第6課のバッチムⅡ、連音化Ⅱ、合成母音Ⅲ、激音化を読んでおく。 「お誕生日おめでとうございます」を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	文字編 第6課 ・1, バッチムⅡ 2, 連音化Ⅱ 3, 合成母音Ⅲを学ぶ。 ・「お誕生日おめでとうございます。」を韓国語で言えるようになることを目的とする。	講義 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	バッチム、合成母音を読むことができる。 連音化と激音化を学ぶことでバッチムのある単語を正しく発音することができる。 「お誕生日おめでとうございます。」のフレーズを韓国語で言うことができる。 連音化と激音化を学ぶことでバッチムのある単語を正しく発音することができる。 「お誕生日おめでとうございます。」のフレーズを韓国語で言うことができる。	(復習)・バッチムと合成母音の読み書きを繰り返し練習して、単語が読めるように復習する。 ・「お誕生日おめでとうございます」のフレーズを繰り返し音読する。(70分) (予習)激音化の単語を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	文字編 第6課・ ・激音化を学ぶ ・激音化を学び バッチム、連音化、合成母音を復習し、正しく読み、書きができるようになることを目的とする。	講義 発音練習 6課の文発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	連音化と激音化を学ぶことでバッチムのある単語を正しく発音することができる。 「お誕生日おめでとうございます。」のフレーズを韓国語で言うことができる。	(復習)・バッチムと合成母音の読み書きを繰り返し練習して、単語が読めるように復習する。 ・「お誕生日おめでとうございます」のフレーズを繰り返し音読する。 (予習)・第7課の濃音を読んでおく。 ・「どこですか」の質問に対する答えを音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	文字編 第7課 ・濃音を学ぶ。 ・「どうですか？」の質問に対する答えが言えるようになることを目的とする。	講義 演習 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	濃音を読むことができる。 「どうですか？」に対する答えが出来る。	(復習)・濃音を復習し、単語の読み書きが出来るように復習する。 ・「どうですか？」に対する答えを繰り返し音読する。 (予習)8課の本文を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	文字編 第7課 濃音を復習して、正しく読み、書きができるようになることを目的とする。	演習 発音練習 7課本文発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	濃音を読むことができる。 「どうですか？」に対する答えが出来る。	(復習)・濃音を復習し、単語の読み書きが出来るように復習する。 ・「どうですか？」に対する答えを繰り返し音読する。 (予習)8課のバッチムⅢ、濃音化、漢数詞を読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	自作の自己紹介と日常会話の動画を見て、自己紹介と日常会話の表現を言えるようになることを目標とする。	講義 発表 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	自己紹介をすることができる。	(復習)簡単な挨拶と会話を繰り返し音読する。 (予習)テストの勉強をする	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	文字編 第8課 バッチムⅢ	講義 発音練習 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	バッチムの読み方が理解し単語を読むことができる。	(復習)文字編1課から、8課まで、総復習しておく。(90分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力